

参入に繋がらなかった事例

参入に繋がらなかった 45 事例（都道府県：28、都道府県以外の相談窓口：14、農業公社：1、相談窓口登録をしていない有機農業団体：2）を紹介する。

繋がらなかった理由として、「農業に対する知識や技術不足」「就農資金不足」「理想と現実のギャップ」「農地、住宅が確保できなかった」「営農計画が立てられなかった」など、就農への準備不足が多かった。また、「希望する就農地の近くに研修受入先がなかった」こともあげられていた。

○都道府県

参入に繋がらなかった事例 1

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
東北	男	53歳	有	1人	農業従事者	不明	稲作、畑作

相談のきっかけ 営農計画書の提出時に町役場に相談があった。

相談状況 米価の下落を受け、有機農業への転換をしたい。

参入不可の理由 面積に対する収益性が低いため。

参入に繋がらなかった事例 2

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
東北	男	不明	有	1人	農業従事者	50万円	野菜作、稲作

相談のきっかけ 普及センターに電話で就農についての問い合わせがあり、市町村・農業委員会、JA が一体となり相談会を実施。

相談状況 現在、農の雇用事業を活用して稲作を中心とした法人に勤務している。有機農業で機械類も一切使用せずに野菜栽培に取り組みたい。法人では稲作の作業が主で、野菜栽培は忙しい時に手伝う程度。農地は知り合いの新規就農者を仲介して 50～100a 程度借用予定だが、地権者とは直接会ったことがない。自己資金は 50 万円程度。青年就農給付金（経営開始型）を利用したい。

参入不可の理由 有機農業に関する知識や技術をほとんど身につけていない。周辺農家への配慮がない。成功のイメージだけで営農開始しようとしており、失敗のリスクについては全く想定されていない。

参入に繋がらなかった事例 3

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
東北	女	50歳	有	無	農業従事者	不明	畑作

相談のきっかけ 本人からの電話による相談。

相談状況 有機栽培、有機 JAS 認定取得について相談。

参入不可の理由 現在の栽培方法（使用資材）と有機農産物の日本農林規格との整合性で断念した。

参入に繋がらなかった事例 4

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
関東	男	35歳	無	無	不明	無	野菜作

相談のきっかけ 相談会。

相談状況 経営継承を希望し、個人農家で研修していたが、継承の話がなかなか進まないため、自分で農地を探し独立することにした。

参入不可の理由 農地情報を収集したが、農地を確保できないため、県内への就農をあきらめた。以前から有機農業が盛んな他県の農業法人に就職し、独立を目指して働くことにした。

参入に繋がらなかった事例 5

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
関東	女	41歳	有	無	無職	100万円	不明

相談のきっかけ 無記入。

相談状況 農地を探している。栽培技術について教えてほしい。

参入不可の理由 知識不足。農地がなかった。

参入に繋がらなかった事例 6

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
関東	男	39歳	無	無	無職	不明	野菜作

相談のきっかけ 農業系大学卒でスーパーの青果コーナーで働いていたが、市内の農家の手伝い

をするようになって本格的に始めたいと考えるようになった。

相談状況 市内の農家の手伝いをしていたが、青年就農給付金（準備型）の要件にあった研修受入先を県から紹介された。

参入不可の理由 研修途中で研修を受けなくなり、就農する自信、意欲がなくなったため、研修途中で中止した。

参入に繋がらなかった事例 7

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
関東	女	52歳	有	6人	無職	無	野菜作

相談のきっかけ 個別相談。

相談状況 経験も資金も時間もほとんど無いが、農業をやりたい。

参入不可の理由 年齢と家族構成を考えると農業を始めることが相談者の人生に良いことと思えなかったため、家庭菜園を始め、もっとやりたいのであれば市民農業者になることを勧めた。

参入に繋がらなかった事例 8

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
東海	男	53歳	有	1人	会社員	300万円	野菜作

相談のきっかけ 農起業支援センターを知り、就農相談を希望して訪問。

相談状況 農家になるための研修をして就農したい、有機農業に興味がある、との相談があった。

参入不可の理由 管内の認定研修機関を紹介した時に、有機農業の研修機関と慣行栽培の研修機関を共に紹介、説明した。後日、連絡があり、いろいろ検討した結果、当初は有機農業をやりたいだったが、慣行栽培の認定研修機関での研修を希望した。次年度から入塾する予定。

参入に繋がらなかった事例 9

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
東海	男	34歳	有	1人	自営業	無	畑作、

相談のきっかけ 市役所に相談後、農業改良普及課を紹介され、来所。

相談状況 特殊なハーブの栽培を希望していたが、研修受入先がない。栽培経験は家庭菜園レベル。農地は、所得目標 250 万円の計画作成を前提として市の斡旋が可能。持ち家。資金なし。

参入不可の理由 断念はしておらず、継続対応。生産量、販路、販売価格の根拠がないため、就農計画が作成できない。

参入に繋がらなかった事例 10

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
東海	男	32歳	不明	無	農家研修中	100万円	野菜作

相談のきっかけ 研修受入先農家からの紹介。

相談状況 青年就農給付金（準備型）について。

参入不可の理由 本人が目指していた体験型農業で生計が成り立つか不安を感じたため。

参入に繋がらなかった事例 11

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
北陸	男	46歳	不明	無	会社員	不明	不明

相談のきっかけ 新規就農支援の相談。

相談状況 農地の確保。

参入不可の理由 農地が確保できなかった。

参入に繋がらなかった事例 12

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
北陸	男	35歳	無	無	無職	不明	野菜作

相談のきっかけ 毎月1回開催している「農林漁業就業支援相談会」に来場。

相談状況 ゆくゆくは農業法人の従業員として有機栽培に従事したいが、まずは2週間程度の体験を行いたい。

参入不可の理由 研修が修了してから連絡がなくなった(理由は不明)。

参入に繋がらなかった事例 13

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
北陸	男	38歳	有	2人	会社員	100万円	野菜作

相談のきっかけ 新規就農相談に関するウェブサイトを見て。

相談状況 農地取得の方法や技術習得(研修)に関する相談を受け、研修制度や農業の一般的な情報、就農までの流れについて情報を提供。

参入不可の理由 農業法人に5年間従事しているが、主に営業、商品デザインなどの担当で、栽培に関する技術は不足。また、家族は妻と子ども2人のため収入の安定しない職に不安を感じた様子。

参入に繋がらなかった事例 14

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
近畿	男	32歳	無	無	パート・アルバイト	100万円	稲作、野菜作

相談のきっかけ 就農支援制度に関する市役所への窓口相談。

相談状況 希望品目の栽培技術、その他の品目導入、就農給付金、制度資金の活用など。

参入不可の理由 現状では、有機栽培では経営が成り立たないと判断したため。

参入に繋がらなかった事例 15

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
近畿	男	28歳	不明	無	学生	100万円	稲作

相談のきっかけ 農家の紹介で普及センターに来所。

相談状況 農業経営や栽培技術に関して相談。

参入不可の理由 参入したものの、無人ヘリコプター防除を実施する地域で、有機農業を続けることは不向きと判断された。

参入に繋がらなかった事例 16

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
近畿	女	49歳	不明	無	不明	不明	野菜作

相談のきっかけ 有機農業も含めて、新規就農に係る相談を行政に相談。

相談状況 農業経験自体がない。半農半Xを希望しており、まずは農業大学の研修や市民農園、農業生産法人へのパートで技術習得することを勧める。

参入不可の理由 パートや研修を行うことで、当面は農業技術を学ぶこととなった。

参入に繋がらなかった事例 17

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
近畿	男	43歳	有	1人	無職	300万円	畑作、野菜作

相談のきっかけ 地域に居住する縁があつて。

相談状況 生活するために、一旦キュウリの栽培を行った。

参入不可の理由 以前の就職先からの再就職の依頼がありもどった。

参入に繋がらなかった事例 18

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
近畿	男	不明	有	無	無職	300万円	野菜作

相談のきっかけ 無記入。

相談状況 無記入。

参入不可の理由 無記入。

参入に繋がらなかった事例 19

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
近畿	男	28歳	有	無	会社員	50万円	野菜作

相談のきっかけ 地域就農支援センターに相談で来所。

相談状況 農地の確保について。

参入不可の理由 希望就農地が市街化区域で農地の取得が難しい。

参入に繋がらなかった事例 20

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
近畿	男	35歳	不明	無	農業従事者	不明	不明

相談のきっかけ 無記入。

相談状況 農業を開始するにはどうすればよいか。

参入不可の理由 農地が確保できていない。

参入に繋がらなかった事例 21

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
近畿	男	55歳	有	無	会社員	不明	野菜作、稲作

相談のきっかけ 無記入。

相談状況 農地の確保。

参入不可の理由 農業の知識がほとんどなく、話を聞いて現実の厳しさを知ったため。

参入に繋がらなかった事例 22

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
中国	女	41歳	有	1人	公務員	不明	不明

相談のきっかけ 県農業農村担い手育成機構に相談。

相談状況 就農までの道のり。研修方法。農地確保の方法。支援制度など。

参入不可の理由 仕事、労力面で困難と感じたため。

参入に繋がらなかった事例 23

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
中国	男	27歳	無	無	不明	不明	畑作、稲作

相談のきっかけ ウェブサイトなど。

相談状況 研修、経営計画、支援制度など。

参入不可の理由 経営計画の見通しが立ちにくく不安視したため。

参入に繋がらなかった事例 24

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
四国	女	30歳	無	1人	会社員	不明	野菜作

相談のきっかけ 農家の紹介。

相談状況 兼業で有機農業に取り組む際の支援策。

参入不可の理由 有機農業で経営確立は厳しいため、他産業との兼業を勧め、まずは技術の習得をするよう指導した。

参入に繋がらなかった事例 25

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
九州	女	45歳	無	無	会社員	無	畑作

相談のきっかけ 相談会。

相談状況 資金・農地がないため、農協、有機 JAS 認定者を研修受入先として紹介。

参入不可の理由 家庭の事情が変わったため。

参入に繋がらなかった事例 26

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
九州	女	30歳	無	無	会社員	無	野菜作、果樹

相談のきっかけ 新規就農給付金の相談。

相談状況 有機農業の技術、土地の取得、給付金の受給方法。

参入不可の理由 土地の確保がされていない。技術がほとんど無い。有機農業を理解していない。資金繰りのメドが立たない。

参入に繋がらなかった事例 27

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
九州	男	36歳	有	3人	NOP 法人	200万円	果樹、畜産

相談のきっかけ 相談会。

相談状況 初期投資の算出・技術習得の方向性・販売先の検討ができれば再度相談予定。

参入不可の理由 相談継続中のため。

参入に繋がらなかった事例 28

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
九州	男	41歳	不明	無	自営業	不明	畑作、野菜作

相談のきっかけ 市町村への相談

相談状況 青年就農給付金、青年等就農資金の相談

参入不可の理由 資金繰りや目標とする所得が得られなかった。

○都道府県以外の相談窓口

参入に繋がらなかった事例 29

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
東北	男	37歳	有	1人	会社員	150万円	野菜作

相談のきっかけ 農業者の紹介。

相談状況 研修、技術。

参入不可の理由 家族と相談して、先に慣行栽培で就農することとした。

参入に繋がらなかった事例 30

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
東北	男	35歳	有	2人	自営業	不明	稲作

相談のきっかけ 無記入。

相談状況 無記入。

参入不可の理由 無記入。

参入に繋がらなかった事例 31

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
東北	男	35歳	無	無	無職	50万円	畑作

相談のきっかけ 新・農業人フェアやウェブサイトを見て、訪問による相談。

相談状況 農業での自立を目指したい。有機農業を実践することの難しさを克服するための対応策などについて。

参入不可の理由 自立の厳しさ。つまり有機農業を実践したことによる生産物への価格転嫁が見込めない。つまり、苦勞しても収益に直接つながらないことや、病虫害駆除への取り組みに限界があること、などが挙げられる。

参入に繋がらなかった事例 32

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
関東	男	42歳	無	無	パート・アルバイト	無	野菜作

相談のきっかけ 相談会。

相談状況 研修、技術、資金。

参入不可の理由 資金不足。「まずは資金確保のために就業を」と提案し、資金が準備できた段階で再度相談を受けることとした。

参入に繋がらなかった事例 33

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
関東	女	27歳	有	無	パート・アルバイト	300万円	野菜作

相談のきっかけ ウェブサイト。

相談状況 研修後の就農を希望。

参入不可の理由 農業について知りたい気持ちから相談があったが、現場にて一生続けることが困難であった。今は農業関係の事業に関わりを持ちながら、就農を考えたいとのこと。

参入に繋がらなかった事例 34

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
関東	男	不明	無	無	無職	不明	不明

相談のきっかけ 研修について。

相談状況 栽培技術について。

参入不可の理由 不明。

参入に繋がらなかった事例 35

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
東海	男	38歳	有	無	不明	200万円	野菜作

相談のきっかけ 相談会。

相談状況 住宅、農地。

参入不可の理由 住宅、農地が決まらなかったため、いったん農業以外の仕事につくことにした。

参入に繋がらなかった事例 36

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
北陸	男	不明	不明	無	不明	不明	不明

相談のきっかけ ウェブサイトの問い合わせフォームを利用。

相談状況 就農希望地域でソバを有機栽培できるかとの問い合わせに対し、土壌や地域特性にもよるので、まずは、近くの農林総合事務所または農協の営農指導員に相談するのが最良と返答。実際に、有機栽培を開始することになったかどうかは不明。

参入不可の理由 無記入。

参入に繋がらなかった事例 37

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
近畿	男	30歳	無	無	農業従事者	不明	野菜作、稲作

相談のきっかけ ウェブサイトから研修生に。

相談状況 研修、技術。

参入不可の理由 自己資金が無いため、他の職種に就いてとりあえず自己資金を生み出そうとしたところ、要職に就いてしまい仕事を辞めれなくなった。

参入に繋がらなかった事例 38

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
近畿	男	18歳	無	無	学生	無	畑作、稲作

相談のきっかけ 両親からの相談。

相談状況 新規就農の研修。

参入不可の理由 家庭の事情により断念した。

参入に繋がらなかった事例 39

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
四国	男	43歳	無	無	自営業	100万円	野菜作、畑作

相談のきっかけ 求職者支援訓練にハローワークを通じて応募。

相談状況 有機農業の研修受入先で6か月研修(求職者支援訓練)。小松菜・ホウレン草・

ナス・オクラ・キュウリ・ジャガイモ。堆肥・アミン酸肥料・ミネラル肥料を使った土づくり・太陽熱養生処理などについて。

参入不可の理由 6か月の研修を終えて、体力面などから就農をあきらめ、研修で得た知識を活かし野菜の販売会社に就職し営業の仕事をすることにした。

参入に繋がらなかった事例 40

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
四国	男	42歳	無	無	会社員	不明	野菜作

相談のきっかけ ウェブサイトで研修受入先を知った。

相談状況 面接を経て、研修受入先にて研修を受けた。

参入不可の理由 研修中は、無収入であったため、経済的に続けられなかった。

参入に繋がらなかった事例 41

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
九州	女	45歳	不明	無	会社員	無	畑作

相談のきっかけ 相談会。

相談状況 資金・農地がないため、有機 JAS 認定者を研修受入先として紹介。

参入不可の理由 家庭の事情が変わったため。

参入に繋がらなかった事例 42

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
九州	女	42歳	無	無	会社員	不明	野菜作

相談のきっかけ ウェブサイト。

相談状況 気持ちだけが先行し、新規就農への準備が不足していた。

参入不可の理由 農的暮らしにあこがれているが、体力も心配、資金もなし、独身。

○農業公社

参入に繋がらなかった事例 43

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
東北	男	32歳	有	5人	農業研修生	100万円	畑作

相談のきっかけ 農業研修センターを通じた直接相談でした。

相談状況 技術を学べる研修受入先の紹介と先進農家の事例視察の希望。

参入不可の理由 県内には有機の技術を学べる研修受入先として適当なものが無かった。

○相談窓口登録をしていない有機農業推進団体

参入に繋がらなかった事例 44

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
四国	女	43歳	無	無	農業従事者	不明	野菜作、果樹

相談のきっかけ 農家つながりでの直接相談。

相談状況 研修受入先について。

参入不可の理由 有機農家で研修を行っていたが、結婚を機に市外に転出することが決まり、転出先での農地の確保が困難であったため。

参入に繋がらなかった事例 45

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	職業	自己資金	希望農業形態
九州	男	22歳	無	1人	学生	不明	畑作、稲作

相談のきっかけ 農業会議のインターンシップで応募。

相談状況 研修（数団体研修を受けた）。

参入不可の理由 無記入。